

# 広報119

2011秋号 vol.12



8月22日から5日間「中学生の職場体験学習」が行われ、一関東消防署では消防士の仕事を志願した千厩中学校2年生5人が、消防業務を経験。朝のミーティングで一日の活動を確認した後、消防車両のしくみやロープ結索の方法について説明を聞いたほか、放水訓練や心肺蘇生法などを体験しました。最終日は訓練棟で引き上げ救助を体験(写真)。真剣な表情で救助訓練に取り組み、消防業務に対する理解を深めました。

**地域の防災はみんなの力で!**

- これからの行事予定 ●●●**
- 11月6日 災害救護研修会(花泉・大東会場)
  - 9日~15日 秋季全国火災予防運動
  - 1月15日~21日 防災とボランティア週間
  - 1月26日 文化財防火デー
  - 2月4日 危険物取扱者試験
  - 3月初旬 春季全国火災予防運動

一関市消防本部のホームページURL

<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/syobo/index.html>

火災などの災害情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

## 地域の自主防災組織などの活動



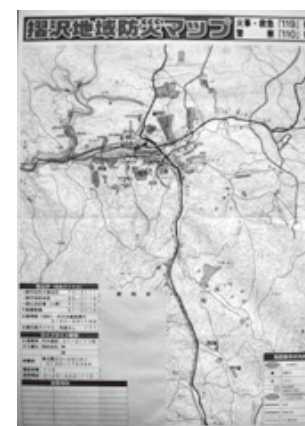
風水害でどんな災害が起こるかを検討

大東町摺沢地区の自治会は七月二十四日、大東コミュニティセンターを会場に、風水害を想定した災害図上訓練(DIG)を行いました。同訓練は、平成二十三年度いちのせき元気な地域づくり事業を活用したもので、摺沢地区二十一自治会から七十三人が参加しました。

参加者は、自治会ごとテーブルに地図を広げ、主要道路や土砂災害危険箇所、災害発生時の避難場所、公共施設、病院、AED(自動体外式除細動器)の設置場所などを色分け作業し、自分たちの地域の現状をまず確認しました。

その後、風水害時を想定して地域で短時間に多くの雨が降った際にどのようなことが起こるか、地図を見ながら話し合い、災害に対する地域の弱みと強み、自主防災活動の優先順位を考えました。

同地区では、今回行った災害図上訓練の情報を基に、地区防災マップを作製し、各戸へ配布する予定です。



今回の作業をもとに作成中の地域防災マップ

大東町  
摺沢地区自治会

風水害に備えるために

災害図上訓練を実施

山目五区自主防災会(那須英喜会長)は、平成15年9月に結成されました。平成19年からは、近隣の才天民区自主防災会(千田富士男会長)、山目六民区自主防災会(藤井忠男会長)と毎年合同の初期消火や救出・救護訓練を行っています。今年は、9月17日に山目五民区内の空地で、子供を含めた約100人が参加し、総合的な防災訓練を開催しました。



バケツリレーによる消火訓練

当日は、震度六弱の地震災害が発生したとの想定。直ちに三民区合同の自主防災本部を開設しました。本部の指示により、消防団のリーダーの指導を受けながら、各民区の安否確認訓練、避難誘導訓練、バケツリレーによる消火訓練、家具に挟まれたケガ人の救出・救護訓練にのぞきました。

東日本大震災では長期にわたり電気が使えなかったという教訓から、大人数の食事をガス釜で炊く応急給食訓練も行いました。

訓練に参加した山目五区的那須会長は、「この訓練で培った近隣区との『絆』を大切に、より近隣区と連携を図りながら、地域防災力の向上を目指したい」と決意し、さらに「今後も継続的に訓練を続け、レベルアップを図りたい」と話していました。

発行日 ●平成23年10月25日  
編集 ●一関市消防本部  
〒021-0053  
岩手県一関市山目字中野140-3  
TEL (0191) 25-0119

山目五区・才天民区・  
山目六民区自主防災

近隣区との「絆」を深め

三民区合同で防災訓練



# 『消したはず 決めつけないで もう一度』 平成23年秋季全国火災予防運動 11月9日～15日

## お宅は大丈夫ですか？

わが家の防火確認をしましょう

○ストーブ  
ストーブの周囲には燃えやすいものを置かない。また、給油するときは、完全に火を消してから行いましょう。



○こんろ  
こんろからの出火の多くは、消し忘れです。その場を離れる時は、必ず火を止めましょう。



○たばこ  
寝たばこは絶対にやめましょう。



○電気機器・配線  
コードを束ねたり、タコ足配線したりすると、コードが発熱して火災の原因となります。



### 防火のポイント

○放火  
家の周りには、新聞紙や雑誌など燃えやすいものは置かないようにしましょう。



○風呂かまど  
火をつける前は、必ず水が入っているか確認しましょう。



「火災の防止・早期発見、被害を最小限に止めるため、住宅用火災警報器が有効です。『住宅用火災警報器』は、火災で発生する煙や熱を自動的に感知して、警報音で知らせてくれます。『住宅用消火器』は小型軽量タイプで、誰にでも簡単に操作できる消火器です。婦人消防協力隊でも、防火機器の設置を推進しています。」



一関地区婦人消防協力隊 連合会長 千葉とき子さん (藤沢町大籠)

### 防火品の使用

火がついても燃え広がるのを防ぎます。カーテンや寝具、衣類などがあります。



### 安全装置付の調理器具

異常な過熱や立ち消えした際には、自動的にガスの供給を止めます。



### ◆住宅用火災警報器を設置して早期に気づき助かりました

居住者が電気ストーブをつけたままベッドで就寝中、布団がずれ落ちて電気ストーブに接触したため出火した。寝室に設置していた住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、布団を手でたいたいで消火した。



### 実際にあった事例です

### ◆自宅に消火器を設置して火災を未然に防ぎました

七十六歳女性が天ぷらを揚げていたところ、電話がかかっていたので、ほんの数分目を離したすきに、天ぷら鍋から炎が上がった。この女性は地域の防災訓練で消火器を使用したことがあったので、慌てず落ち着いて家にあった消火器で消すことができました。



# 救急活動の基本を再確認

## 国際医療福祉専門学校学生も感嘆

一関東消防署・一関北消防署の救急隊は九月七日、「合同救急活動訓練」を東消防署で行いました。

訓練には、九月四日からの救急医療週間に合わせ、救急隊員の救急技術の向上を図ろうと署員三十五人が参加。蜂刺され、喘息発作や胸痛・呼吸苦(急性心筋梗塞)の症状を訴える傷病者に対して行なう処置の手順を確認しました。実際の救急現場では、傷病者の容態や変化に応じた判断と処置が求められることから、事前に各隊員には患者



傷病者を処置する救急隊員



国際医療福祉専門学校一関校の生徒も訓練に参加

の容態を知らされることなく進められました。

また、今年四月に開校した国際医療福祉専門学校一関校(室根町矢越)の救急救命学科の生徒三十人も傷病者や家族などで訓練に参加しました。同校の生徒は、「学校で訓練しているものとは全く違い、救急処置のスピード、接遇、判断等驚くことばかりだった」と感想を述べるとともに「訓練を間近で見学でき、勉強になった」「救急救命士になりたいという思いをさらに強く持った」などと話し、良い刺激を受けたようです。

参加した署員らは訓練後、応急処置、安全管理の基本動作や隊員間の連携の重要性などについて意見を交わし、救急業務への気持ちを新たにしました。

### シリーズ第11回

## 子供の命を守るために



県立磐井病院 救急医療科長 片山 貴晶

ます。小さい子供では片手の付け根だけでも構いません。乳児では両手の親指で圧迫して下さい。圧迫の速さは一〇〇回/分以上です。圧迫の深さは胸の厚みの三分の一くらいです。胸骨圧迫によって全身に回った血液が十分に心臓に戻ってくるのを待つために、一回圧迫するたびに力を抜き胸が完全に元に戻るまで待つてから次の圧迫をしてください。

二分くらい胸骨圧迫を行ったら、一一九番通報して下さい。もし近くに子供用AED(自動体外式除細動器)があれば持つてきてもらって下さい。胸骨圧迫を行う前や最中に誰か人が来たら、一一九番通報やAEDを持つてくることをお願いし、自分は胸骨圧迫を続けて下さい。救急隊が到着するまで、可能な限り胸骨圧迫を続けて下さい。誰かと交代に行っても構いません。とにかく胸骨圧迫の中断は最小限にすることが重要で、これが生死を分ける可能性が高いです。

子供が心停止に陥らないようにし、心肺蘇生法をいつでもできるように考えておき、また講習会を受講することを勧めます。